

第16回 HPCものづくりワークショップ

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（以下、産応協）は、東京大学生産技術研究所革新的シミュレーション研究センターを中心に進められてきた戦略的基盤ソフトウェアの開発、革新的シミュレーションソフトウェアの研究開発、イノベーション基盤シミュレーションソフトウェアの研究開発と続く次世代ものづくり系ソフトウェア（FrontFlow, FrontISTR, FrontComp, Revocap, PHASE SYSTEM, ProteinDF, ABINIT-MP/BioStation等）の研究開発や普及促進等を支援してきました。富岳に代表されるHPC(High-Perfomanced Computing)やクラウドコンピューティングを利用した社会的・科学的課題解決に向けた大規模・高精度シミュレーションが、さらに広く活用されることを期待されています。これらの背景から産応協では、継続したHPCものづくりワークショップを企画しております。

第16回ワークショップでは、これまで進めておりましたFEM共通ベンチマークのまとめとしまして、ベンチマーク結果の集計結果報告と議論を行います。合わせまして、今年度開催の国際学会(WCCM, SC22)のトピックスレポートと題しまして、筑波大学 森田先生、東京大学 奥田先生/奥田研究室よりご講演いただく予定です。

ご多忙中とは存じますが、是非ご参加下さいますようご案内申し上げます。

2022年10月吉日

主催:スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協)

共催:FrontISTR Commons

実施概要

- 開催日時 : 2022年11月25日 (金) 13:30~16:50 (開場 : 13:15)
- 開催場所 : WebExによるリモート開催
- 参加者 : 事前に参加登録した産応協正会員、旧イノベPJ関係者、ターボ機械協会流体性能の高精度予測と革新的流体設計分科会、FrontISTR Commons及びベンチマーク活動の賛同者
- 対象ソフトウェア : FrontISTR, FrontComp, Revocap, UPACS, OpenFOAM, ABAQUS
ものづくり系ソフトウェアに特化
- プログラム : (講師・演題等は予告無く変更になることもありますので予めご了承下さい)

13:30-13:35 はじめに 産応協

13:35-14:35 国際会議トピックスレポート
東京大学 教授 奥田 洋司 / 奥田研究室
筑波大学 助教 森田 直樹

14:35-14:45 休憩

14:45-14:55 共通ベンチマーク結果レポート

14:55-15:25 FrontISTRの説明 (アルゴリズム、特徴を中心に)
東京大学教授 奥田 洋司

15:25-15:35 休憩

15:35-15:45 共通ベンチマーク集計結果の説明 産応協

15:45-15:55 休憩

15:55-16:40 共通ベンチマーク集計結果に関する議論

16:40-16:50 おわりに

産応協

参加要領

定員：60名…先着順に受付、定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。

本ワークショップは産応協会員企業（団体）、旧イノベPJ関係者、ターボ機械境界流体性能の高精度予測と革新的流体設計分科会、及び、FrontISTR Commonsのご参加を優先させていただいておりますが、積極的にワークベンチ活動をしていただける方のご参加も歓迎しております。

参加費：無料

申し込み：下記URLより2022年11月18日（金）までに登録願います。

<https://forms.office.com/r/wKBiYBapqS>

参加は**必ず事前登録**をお願いします。当日の受付は致しません。

また、参加にあたり、本ワークショップは、ギブ・アンド・テイクを原則としており、その趣旨をご理解の上、積極的なご参加を頂きますようお願い申し上げます。

※申し込み締め切り後にWebEXへの登録用招待状を送付いたしますので、そちらへの登録処理もお願いいたします。

今後の開催予定

第17回：2023年上期予定

お問い合わせ先

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協/ICSCP)

〒105-0001東京都港区虎ノ門1-10-5 WeWork KDX Toranomom 1 Chome 11階

URL：http://www.icscp.jp/ E-mail：icscp_office@icscp.jp

TEL：080-6906-5461（事務局：中川）